

株式会社 JSP

第64回定時株主総会

2022年 6月29日



事業報告

経済環境及び市況の概況

世界経済

- 経済活動の段階的な制限緩和
 - ▶ 個人消費を中心に回復基調
- 新型コロナウイルス感染症変異株の再拡大
- 半導体などの部品供給不足・原材料価格の高騰

回復ペースは鈍化

経済環境及び市況の概況

日本経済

- 経済活動の制限
- サプライチェーンにおける遅延の影響 ▶ 徐々に緩和
- ウクライナ情勢

先行き不透明な状況

経済環境及び市況の概況

国内発泡プラスチック業界

- 巣ごもり需要の継続 ▶ 需要は緩やかに回復
- 原材料価格の高騰が継続



非常に厳しい状況

当社グループの経営成績

新中期経営計画

Change for Growth

当社グループの経営成績

Change for Growth

新中期経営計画の基本コンセプト

経済価値だけでなく、顧客や社会の課題解決などの社会的価値へと提供価値を拡大

経営基盤の強化

当社グループの経営成績

売上高

- 付加価値の高い製品の販売増加
- 製品価格改定

増収

営業利益

- 原料価格高騰

減益

特別損失

- ▶ 国内：減損損失
- ▶ 韓国：火災による損失

当社グループの経営成績

(百万円)

	前 期	当 期	前期比
売 上 高	102,668	114,125	11.2%
営 業 利 益	5,185	4,589	△11.5%
経 常 利 益	5,519	4,868	△11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,017	2,893	△4.1%

セグメントごとの業績

招集ご通知 27～28ページ

セグメントごとの業績

押出事業

生活資材製品

- ディ스플레이材「ミラボード」 ▶ 増加
- 食品トレー向け分野 ▶ 減少
- 製品価格改定

▼
増 収

セグメントごとの業績

押出事業

産業資材製品

■ 付加価値の高い製品

大幅増加

■ 汎用製品

増加

増収

セグメントごとの業績

押出事業

建築土木資材製品

- 建築・住宅分野向け ▶ 前期並み
- 土木分野向け ▶ 減少

減収

セグメントごとの業績

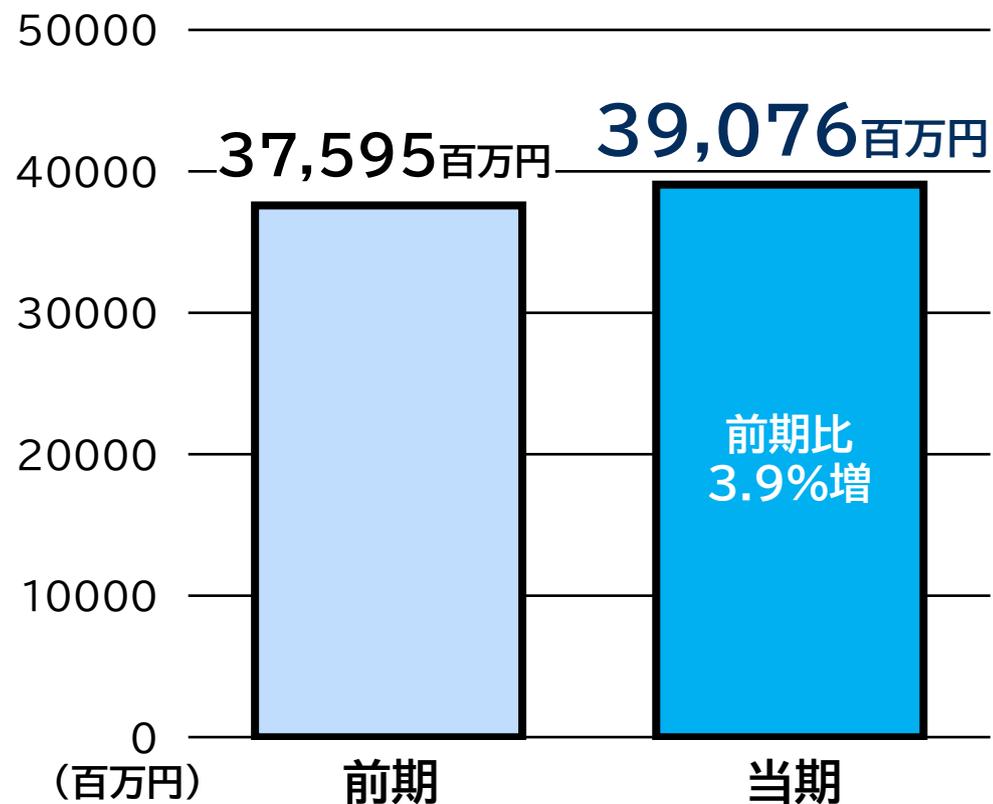
押出事業

- 付加価値の高い製品 ▶ 増加 ▶ 増収
- 製品価格改定 等
- 原料価格高騰を販売増加で補う ▶ 増益

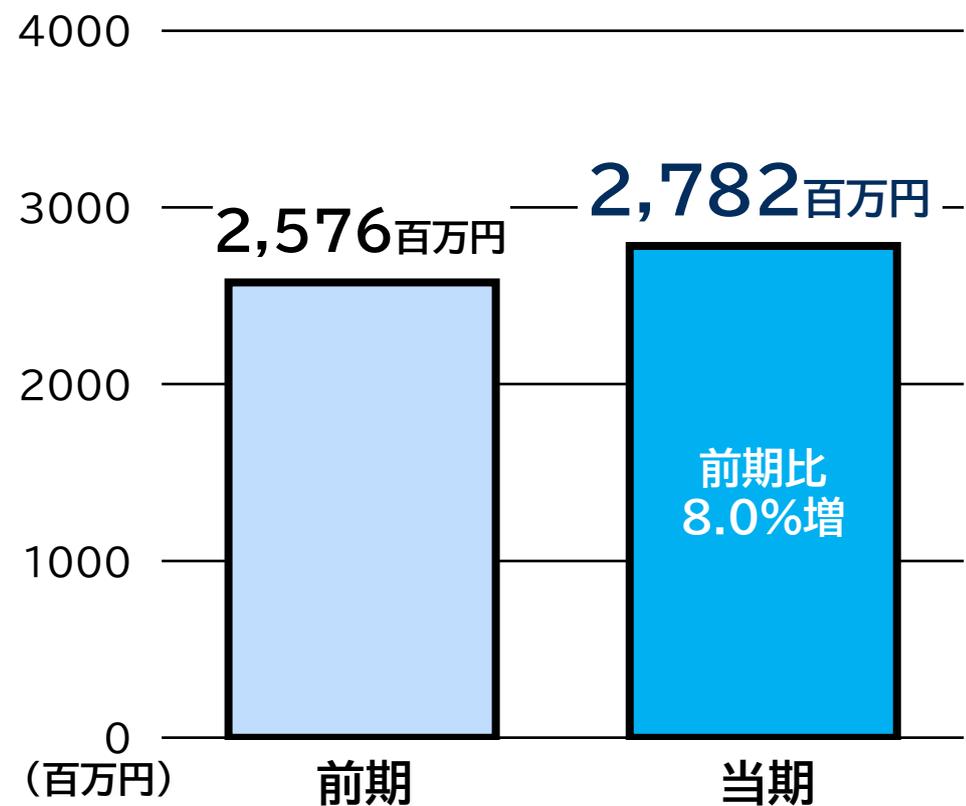
セグメントごとの業績

押出事業

売上高



営業利益



セグメントごとの業績

ビーズ事業

ピーブロック

- 自動車部品
- 各種部品の通い函
- 緩衝包装材
- 住宅設備向け保温緩衝材
- 競技用グラウンド基礎緩衝材



幅広い用途に使用

セグメントごとの業績

ビーズ事業

高機能材製品

- 新型コロナウイルス感染症による活動制限
- 部品供給不足の影響(半導体 等)
- 緩やかな需要回復
- 自動車の新規部品の採用拡大

増収

セグメントごとの業績

ビーズ事業

高機能材製品

国内

▶ 自動車分野 等

▶ 増加

北米

▶ 自動車メーカーの
生産調整の影響

▶ 緩やかな増加

南米

▶ 自動車分野 等

▶ 増加

セグメントごとの業績

ビーズ事業

高機能材製品

欧州

▶ 自動車・非自動車分野 ▶

増加

アジア

▶ 包装材分野 ▶

堅調に推移

セグメントごとの業績

ビーズ事業

発泡性ビーズ製品

■ 水産・農業分野

減少

■ 製品価格改定

増収

原料価格高騰への対応を推進

セグメントごとの業績

ビーズ事業

発泡性ビーズ製品

「FOAMCORE」の需要回復



増収

セグメントごとの業績

ビーズ事業

- 自動車分野



増収

- 製品価格改定を進めるも
原料価格高騰の影響

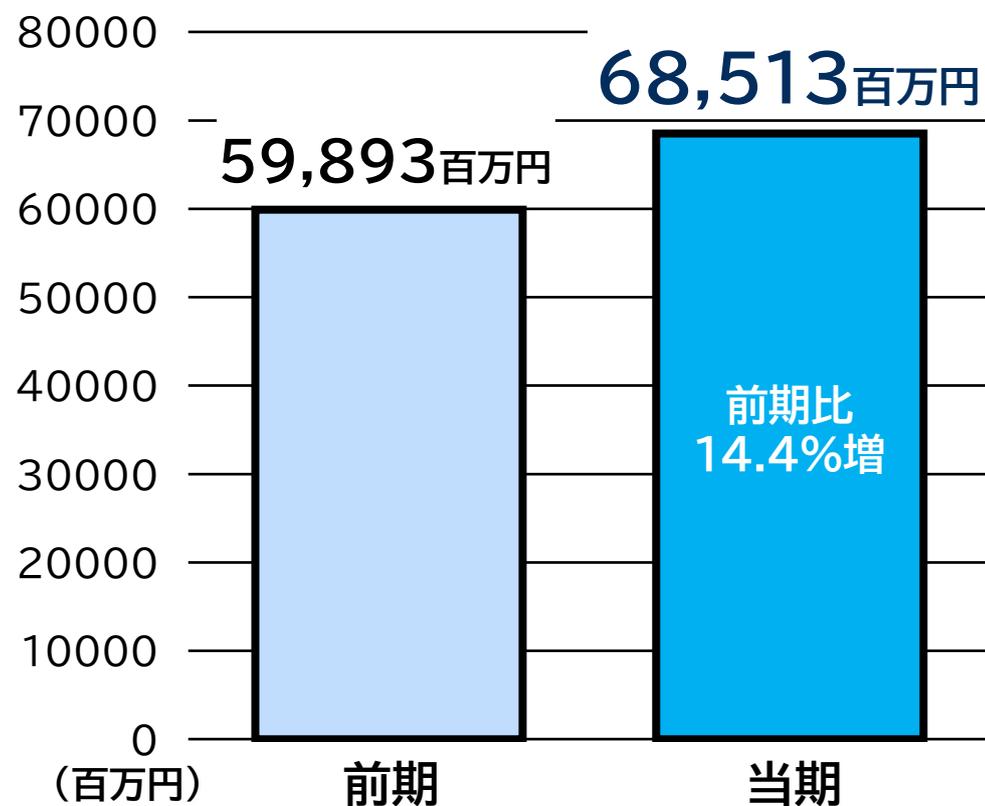


減益

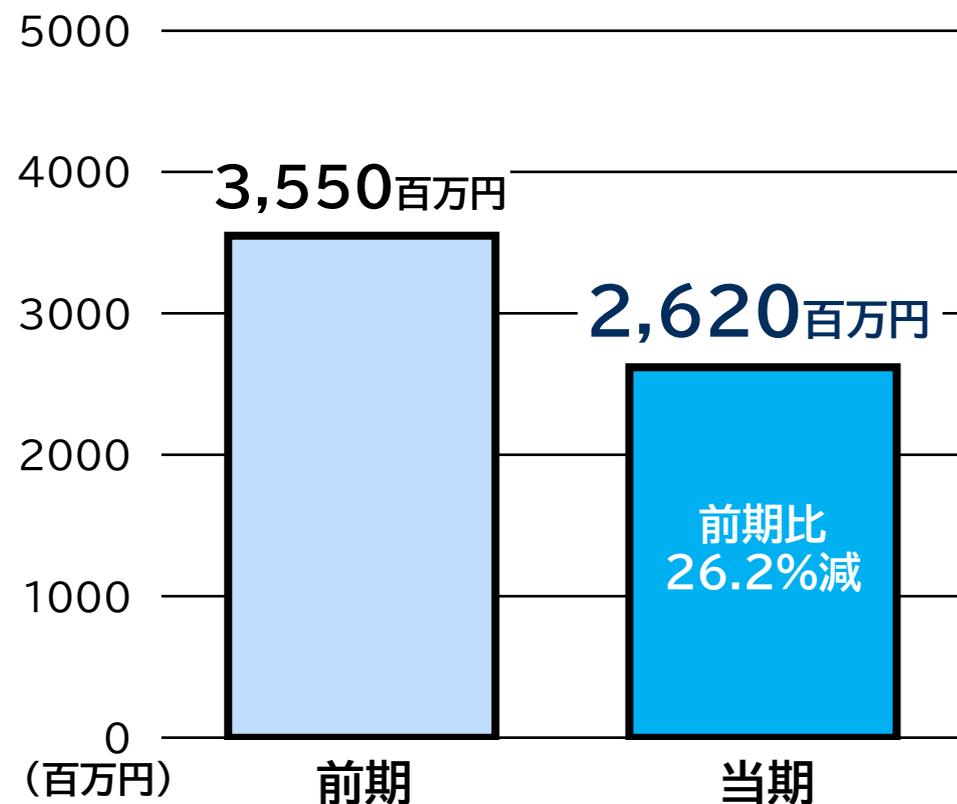
セグメントごとの業績

ビーズ事業

売上高



営業利益



セグメントごとの業績

その他

一般包材

国内

■ 自動車部品輸送関連等の販売回復



増収

中国

■ 各種部品関連の需要が好調に推移

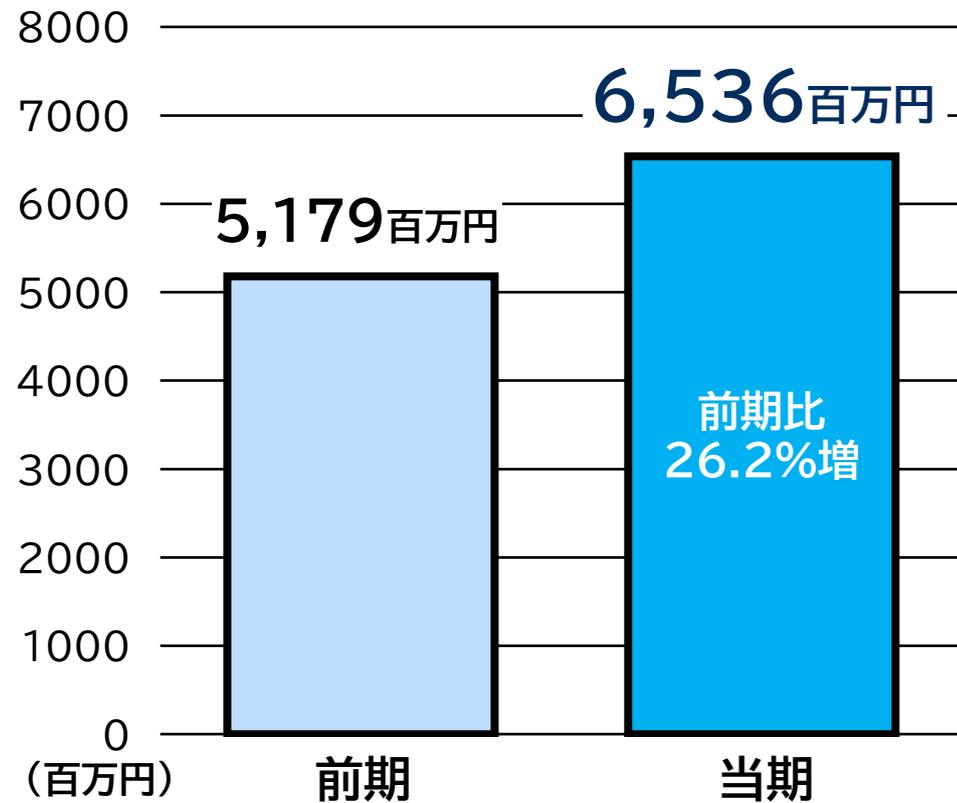


増収

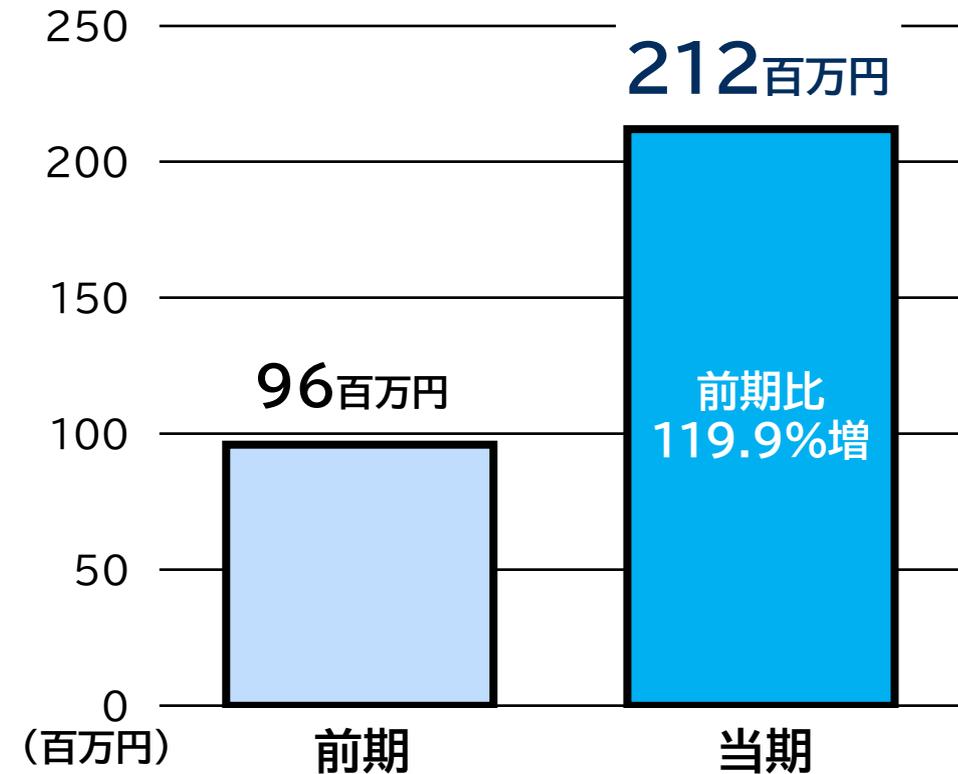
セグメントごとの業績

その他

売上高



営業利益



設備投資の状況

設備投資の総額

6,012百万円

- 生産設備の増強・改善合理化

資金調達の状況

- 自己資金・金融機関からの借入金で充当

対処すべき課題

招集ご通知 31～33ページ

対処すべき課題

創造的行動力による社会への貢献

E 環境

S 社会

G 企業統治

『サステナビリティ経営』に取り組む

対処すべき課題

サステナビリティ基本方針を新たに制定

共通価値の創造(CSV)

環境(E)・社会(S)・企業統治(G)

マテリアリティ
の特定

対処すべき課題

中期経営計画「Change for Growth」 基本コンセプト	マテリアリティ
1. 経済価値だけでなく、 顧客や社会の課題解決などの 社会的価値へと提供価値を 拡大する。	共通価値の創造(CSV) (1)環境対応型製品による貢献 (2)プラスチック資源循環への貢献 (3)気候変動緩和への貢献 (4)食と健康への貢献 (5)安全への貢献
2. 経営基盤の強化	環境(E) (1)地球環境保全への対応 社会(S) (1)人材育成の強化 (2)働きがいのある企業風土の醸成 (3)労働安全 (4)情報システム基盤の強化 企業統治(G) (1)コーポレート・ガバナンスの強化

対処すべき課題

経済的価値だけでなく社会的価値へと提供価値を拡大

- ピーブロックが、温室効果ガス排出削減に貢献
- ミラフォームは、省エネ対策強化・
カーボンニュートラルに向けた対応に貢献

対処すべき課題

中期経営計画「Change for Growth」 基本コンセプト	マテリアリティ
1. 経済価値だけでなく、 顧客や社会の課題解決などの 社会的価値へと提供価値を 拡大する。	共通価値の創造(CSV) (1)環境対応型製品による貢献 (2)プラスチック資源循環への貢献 (3)気候変動緩和への貢献 (4)食と健康への貢献 (5)安全への貢献
2. 経営基盤の強化	環境(E) (1)地球環境保全への対応 社会(S) (1)人材育成の強化 (2)働きがいのある企業風土の醸成 (3)労働安全 (4)情報システム基盤の強化 企業統治(G) (1)コーポレート・ガバナンスの強化

対処すべき課題

環境への取り組み

TCFD提言に賛同を表明

- 新たな事業機会と捉え取り組みを強化
- 2022年度:TCFDに関する情報開示を強化

対処すべき課題

- コロナ禍からの回復
- 原油価格の高騰
- 部品供給不足（半導体 等）

対処すべき課題

- 原材料の高騰・コストの上昇に対し、販売価格の是正
- 製品の高機能化・高付加価値化・サービスの充実



収益性の確保に努める

今後とも格別のご指導と
ご支援をお願い申し上げます



財産及び損益の状況の推移 招集ご通知 29～30ページ

重要な親会社及び子会社の状況

主要な事業内容

主要な営業所及び工場等の状況

従業員の状況

主要な借入先 招集ご通知 34～39ページ

会社の株式に関する事項

会社役員に関する事項

会計監査人に関する事項

招集ご通知 40～48ページ

当期利益配当

1株当たり50円

期末配当金

1株当たり25円

中間配当金 1株当たり25円

業務の適正を確保するための 体制及び当該体制の運用状況

当社ウェブサイトに掲載

連結貸借対照表

招集ご通知 50ページ

連結貸借対照表

(百万円)

	前 期	当 期	前期比 増減額
流 動 資 産	62,456	68,503	6,046
固 定 資 産	66,597	66,024	△573
資 産 合 計	129,053	134,527	5,473

連結貸借対照表

(百万円)

	前 期	当 期	前期比 増減額
負 債 合 計	43,492	44,295	803
純 資 産 合 計	85,561	90,231	4,670
負 債 純 資 産 合 計	129,053	134,527	5,473

連結損益計算書

招集ご通知 51ページ

連結損益計算書

(百万円)

	前 期	当 期	前期比
売 上 高	102,668	114,125	11.2%
営 業 利 益	5,185	4,589	△11.5%
経 常 利 益	5,519	4,868	△11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,017	2,893	△4.1%

1株当たりの当期純利益 97円06銭

連結株主資本等変動計算書

招集ご通知 52ページ

連結株主資本等変動計算書

株主資本合計

約85,726百万円

純資産合計

約90,231百万円

単体の計算書類

招集ご通知 53～56ページ

連結計算書類 監査結果報告

監査報告のとおりでございます

連結計算書類および計算書類に係る注記表

当社ウェブサイトに掲載しております

株式会社 JSP

第64回定時株主総会

2022年 6月29日

